

令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～

教科担当者： 関口 奈々（機械、電気、情報技術 1年（選択））

使用教科書： （ 高校生の音楽①（教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術の多様性について理解を深め、表現している。

【思考力、判断力、表現力等】芸術を形作っている要素を知覚し、表現意図を考えたり音楽を味わったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】芸術、芸術文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の構造や文化的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創 賞					
1 学 期	A 歌唱① 【知識及び技能】 基本的な発声方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 元 気よくはっきりとした発音で歌うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主 体的に表現をしようとしている。	・基本的な発声の確認 ・校歌斉唱	○			【知識・技能】 歌唱テスト 【思考・判断・表現】 歌唱テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 練習態度	○	○	○	3
	B 歌唱② 【知識及び技能】 基本的な発声方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲にふさわしい歌い方で歌うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主 体的に表現をしようとしている。	・基本的な発声の確認 ・翼をください ・少年時代 ・ひまわりの約束	○			【知識・技能】 歌唱テスト 【思考・判断・表現】 歌唱テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 練習態度	○	○	○	6
	C 作曲 【知識及び技能】 基本的なコードの仕組みを理解し、カノン進行に基づいて決められたリズムで作曲をする。 【思考力、判断力、表現力等】 コード進行やリズムの関連を理解し、作曲することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業中の作業シートをできるだけ丁寧に記入し、作曲に挑戦することができる。	バッハ作曲の「カノン」のコード進行を理解し、このコードを用いて2分音符、4分音符、8分音符、自由なリズムで作曲活動をする。最終的にはすべてのリズムの曲を集めて、自分だけの「myメロディ」を作成する。			○	【知識・技能】 作品 【思考・判断・表現】 作品 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の様子・作品の内容	○	○	○	7
	D 鑑賞 【知識及び技能】 作品の背景などを理解して鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の意図を考え、良さを味わって鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から熱心に作品の内容をとらえようと鑑賞している。	ミュージカルやオペラ、映画などを鑑賞することで、今まで知らなかった音楽の世界を知ることができるようにする。			○	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞態度や感想文	○	○	○	4
2 学 期	E 歌唱③ 【知識及び技能】 基本的な発声方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アクセントや発音に注意して外国語の歌を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界中の音楽の良さに触れ、苦手意識を持たず外国語の歌を歌えるようにする。	・基本的な発声の確認 ・我が太陽 ・野ばら ・愛の讃歌	○			【知識・技能】 歌唱テスト 【思考・判断・表現】 歌唱テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 練習態度	○	○	○	12
	F リズムアンサンブル 【知識及び技能】 楽譜を見てリズムを理解し、ハンドクラップで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 他者とアンサンブルをしながら自分のリズムを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫をしてリズムアンサンブルに取り組む。	・リズム譜の読み方 ・プリマスロック ・クラッピングカルテット	○			【知識・技能】 発表 【思考・判断・表現】 発表 【主体的に学習に取り組む態度】 練習態度	○	○	○	12
	G 鑑賞 【知識及び技能】 作品の背景などを理解して鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の意図を考え、良さを味わって鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分から熱心に作品の内容をとらえようと鑑賞している。	ミュージカルやオペラ、映画などを鑑賞することで、今まで知らなかった音楽の世界を知ることができるようにする。			○	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞態度や感想文	○	○	○	4

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科 芸術 科目 美術 I

教科：教科 芸術 科目：美術

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組 3 組 5 組

教科担当者：平岡栄二

使用教科書：（ 高校生の美術 1 1 1 6 _ 日文 美 1 _ 7 0 2 ）

教科 教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】知識は造形的な視点を豊かにするためのものであり、技能は表現における創意工夫であり、それを育てる。

【思考力、判断力、表現力等】表現における発想・構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った感じ方、見方を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】美術に対する関心・意欲・態度を持って美術を愛好する心情、又豊かな感性、情操を育てる。

科目 美術 I の目標：美術の専門的な学習を通して美術文化の創造的な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識は造形的な視点を豊かにするためのものであり、技能は表現における創意工夫であり、それを育てる。	表現における発想・構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った感じ方、見方を育てる。	美術に対する関心・意欲・態度を持って美術を愛好する心情、又豊かな感性、情操を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	鑑 賞						
1 学 期	1 単元 「オリエンテーション」 「美術とは何か」 「年間授業の計画」等の説明	・指導事項 1年間の授業内容の説明、教科書の説明、社会の中での美術の役割の説明。 ・教材 教科書、参考作品等。	○	○	○	○				○	1
	「クロッキー」	・指導事項 クロッキーとは何かの説明。教科書等を参考にし、描画材料の説明。 ・教材 鉛筆 B、2 B、紙。	○	○	○					○	1
	「基本形のデッサン」	・指導事項 美術の基礎学習。基本形（円すい形、円柱形、立方体等）のデッサンを行う。 ・教材 鉛筆 B、2 B、練りゴム	○	○	○					○	6
	2 単元 「グラデーション」	・指導事項 美術の基礎学習。鉛筆の濃淡、諧調の学習。鉛筆の塗り方、形のとらえ方等、講習会を行う。 ・教材 鉛筆 B、2 B、練りゴム、定規	○	○	○					○	4
	3 単元 「色彩の学習」 (デザイン)	・指導事項 色彩の基礎を学習する。純色、明清色、暗清色を用いて立体的に表現させる。 ・教材 ポスターカラー、筆、画用紙、パレット等		○	○					○	6
2 学 期	4 単元 「レタリング」 (デザイン)	・指導事項 レタリングの基礎学習をする。明朝体、ゴシック体の違いと点画を学ぶ。 ・教材 鉛筆、プリント、定規		○	○					○	4
	5 単元 「絵文字」 (デザイン)	・指導事項 絵文字を描かせる。自分の好きな字を1文字選び創造性を持って表現させる。 ・教材 ポスターカラー、レタリング字典、筆、鉛筆、画用紙		○	○					○	4
	5 単元 「絵文字」 (デザイン)	・指導事項 絵文字を描かせる。自分の好きな字を1文字選び創造性を持って表現させる。 ・教材 ポスターカラー、レタリング字典、筆、鉛筆、画用紙		○	○					○	12
6 単元 「静物画」 (絵画)	・指導事項 身近なモチーフをアクリル絵の具で描かせる。構成力、質感、構想を練ったり、鑑賞力を身に付ける。 ・教材 アクリル絵の具、筆、キャンバスボード F 6号等	○		○					○	12	

2 学 期	7 単元 (絵画) 「木版画」	<p>・指導事項 版画には4種類の技法があるが、その中で凸版の木版画を作る。身近なモチーフ、図鑑等から1つ選び、作品を作る。 ・教材 板、インク、彫刻刀、鉛筆、トレーシングペーパー等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 テーマを持って画題を選び、作品を作っているか。 【思考・判断・表現】 発想力、構成力、に工夫がされているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	4
	7 単元 (絵画) 「木版画」	<p>・指導事項 版画には4種類の技法があるが、その中で凸版の木版画を作る。身近なモチーフ、図鑑等から1つ選び、作品作りをする。 ・教材 板、インク、彫刻刀、鉛筆、トレーシングペーパー等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 テーマを持って画題を選び、作品を作っているか。 【思考・判断・表現】 発想力、構成力、に工夫がされているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	10
3 学 期	8 単元 (絵画) 「模写」のデッサン	<p>・指導事項 教科書の中から好きな作品（絵画）を選び、模写をする。作品の内容、構図、遠近、明暗等を考えながら模写をする。また作品図版の拡大の仕方を学習する。 ・教材 鉛筆、練りゴム、画用紙</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 模写をする意味を理解し丁寧に描かれているか。 【思考・判断・表現】 正確な形が描かれ、明暗等も正しく描かれているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	6
										合計

令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 単位
 対象学年組： 第 1 学年 組～ 組
 教科担当者： （ 組： ）
 使用教科書： （ ）

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】 目的や用途に即した効果的な表現をするための知識を身につけている。また自身の意図を表現できる技能が
 【思考力、判断力、表現力等】 古典のや古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。
 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図について可視化し、主体的に取り組もうとしている。

科目 書道 I の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や用途に即した効果的な表現をするための知識を身につけている。また自身の意図を表現できる技能がある。	古典のや古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	自身の表現の意図について可視化し、主体的に取り組もうとしている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数				
			漢 仮	漢	鑑 賞									
1 学 期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に即した効果的な表現を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校書写と高校芸術書道との違いを実感し、意図に基づいた表現について構想し工夫している。	国語科書写の復習 創作の体験による芸術科書道への導入		○	○	【知識・技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意図に基づいた表現について構想し工夫している。				○	○	4		
	B 漢字の書 【知識及び技能】 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	古典臨書 ・孔子廟堂碑 ・九成宮醜泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・鄭義下碑		○	○	【知識・技能】 それぞれの古典の特徴について理解し、ポイントを抑えて書くことができる 【思考・判断・表現】 書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している				○	○	○	18	
2 学 期	C 篆刻と刻字 【知識及び技能】 篆刻・刻字の表現の特質を理解して作品に反映できている。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の表現の意図に基づく表現・作品作りをしている 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図について可視化し、主体的に取り組もうとしている	姓名印を制作する		○	○	【知識・技能】 篆刻・刻字の表現の特質を理解して作品に反映できている。 【思考・判断・表現】 自身の表現の意図に基づく表現・作品作りをしている 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の表現の意図について可視化し、主体的に取り組もうとしている						○	○	4
	D 仮名の書 【知識及び技能】 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	古筆臨書 高野切第三種 継色紙			○	○	【知識・技能】 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 仮名の書のよさや美しさを甘受し、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。				○	○	○	10
3 学 期	E 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	創作 落款印を押して作品を制作する		○	○	【知識・技能】 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。				○	○	○	12	
											合計	70		

令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 工芸 I

教科：芸術

科目：工芸 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1200 組

教科担当者：（1200組： 佐東 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 工芸 I 日本文教 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】日本工芸について学び、手仕事を通して道具を扱いながら技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】各課題を理解し、素材を活かしたデザイン美、且つ、機能性のある作品制作。

【学びに向かう力、人間性等】ただの素材が、加工を経て形が変化し完成させることで、達成感を知り次の課題に取り組む意欲を持てるよう

科目 工芸 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常の中にある芸品を再確認し、身近な素材が使われていること、素材の性質、加工方法、工具、扱い方を通して、手仕事の大切さを知ること。	課題を理解、観察をし、必要な機能性を普段の生活から何が必要・不要なのかを知り、デザインの中にその機能性をどのように取り入れるか、エスキースを通して吟味し、形にしてい	アイデアを多く出し、デザインをまとめ、工程を経て完成し、それを使えることの喜びを知ること。 苦手意識を緩和できるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 鑑賞		評価規準	知	思	態	配当 時数
		身	社					
ハンガー制作（エスキース） 【知識及び技能】 *ハンガーの歴史の理解 *構造、機能性の理解 *木工加工技術の習得 【思考力、判断力、表現力等】 *デザインと機能性を共に考えながら、形になっていくことの理解 【学びに向かう力、人間性等】 *好奇心、向上心を持って課題に取り組めること。 *苦手意識の緩和。	・指導事項 *ハンガーの歴史、種類の説明 *ハンガーの型紙制作 *エスキース(基本的に個別に対応) ・デザインの考え方 ・素材と強度の理解 ・機能の必要性 ・アイデアが出ない場合の対処法 ・デザインの良いところ、改良点等 *使用工具による素材の表現方法 ・教材 *ハンガー教材（桂材） *クロッキー帳	○	○	【知識・技能】 *自宅にあるハンガーなども参考に、ハンガーの構造や機能性を理解できているか。 【思考・判断・表現】 *機能性も考えながら、デザインを考えられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 *積極的に課題に取り組んでいるか。 *アイデアを出す努力をしているか。 *技術的なことを考え、妥協していないか。	○	○	○	8
ハンガー制作 【知識及び技能】 *使用工具、機械の構造 *機械、道具などの危険性 *それぞれの使用方法、効果の理解 【思考力、判断力、表現力等】 *デザイン通りに形にすること。 【学びに向かう力、人間性等】 *諦めずに完成できるようにする。	・指導事項 *電動糸鋸、ボール盤等の操作方法。 *各工具の扱い方の実践説明（端材などを使用） ・棒ヤスリ・紙ヤスリの種類 ・ヤスリの使用方法 ・万力 ・ヒータリングツール ・彫刻刀 *丁寧な作業			【知識・技能】 *機械、工具の扱い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】 *エスキース通りに制作を勧められているか。 *失敗した時、臨機応変に対応できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 *わからないまま作業を進めていないか。 *積極的に作業をしているか。				12
ハンガー制作 仕上げ・完成	・指導事項 *木目仕上げの場合は、キズを無くす *彩色仕上げの場合は、はみ出しなど汚れないよう注意 *ワイヤーフックを取り付ける			*デザイン *機能性 *仕上げの丁寧さ				2

